

◎ あとがき ◎

小児がん治療の新展開を多角的に取り上げた、密度の濃い特集である。序にもある通り、小児がん治療の過去・現在・未来がぎっしりと詰まっている。小児がんは、顕微鏡による形態的診断と多剤併用化学療法・放射線治療の時代を経て、この50年の間に予後が劇的に改善した。生存率が80～90%になった一方で、晩期合併症も70%と高率にみられることが問題となり、生存率の維持と晩期合併症軽減の両立が求められるようになっていく。

各論における、さまざまながんに対する治療の変遷をみると、遺伝子解析によるゲノム診断などを駆使してリスクを層別化し、それに合わせた治療がきめ細かく行われるようになっていくことがわかる。治療にも分子標的薬や免疫療法が用いられ、これまで難治であった疾患の予後改善に寄与している。最新の遺伝子診断や治療薬が紹介されているが、歴史的な経緯を踏まえて俯瞰的に述べられているため、小児がん治療は専門外であってもその意義を実感することができる。

本特集では、妊孕性温存療法、新薬開発におけるドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロスの問題、支持療法の実践、心理社会的支援の専門職、緩和ケア、在宅医療など、がんの子どもを取り巻く問題についても幅広く取り上げている。コラムで述べられた、小児がん拠点病院と小児がん連携病院のネットワーク、家族参画の意義、専門医制度の紹介なども興味深い。いずれも、小児がん治療に留まらない普遍的な問題である。

予後が改善した結果、若年成人での小児がん経験者の割合は700～1,000人に1人に達しているといわれ、治療後のフォローアップは専門外の医師にとっても重要な課題である。本特集が、小児がんの子どもたちの未来を支えていくすべての医療者の一助になれば幸いである。

(虎の門病院小児科 伊藤純子)

■編集顧問

白木和夫	藤川 敏	阿波彰一	山口規容子
飯沼和三	大和田 操	伊藤文之	柳川 幸重
児玉浩子	岩田 力	麦島秀雄	桃井真里子
山中龍宏	藤澤知雄	横田俊平	小原 明
衛藤 隆	椎原弘章	田原卓浩	横田俊一郎
栗津 緑	五十嵐 隆	稲毛康司	下条直樹
田島 剛	洲上達夫	森尾友宏	大橋十也
浦上達彦	賀藤 均	秋山千枝子	清水俊明

■編集主幹

窪田 満 富澤大輔 東海林宏道 成田雅美

■編集委員

伊藤純子	乾あやの	岩間 達	小野 博
小崎健次郎	小林茂俊	小松充孝	島袋林秀
高橋謙造	日暮憲道	平野静香	広瀬宏之
三浦健一郎	道下崇史	森岡 一朗	

小児内科 第57巻 第11号 (11月号)

2025年11月1日発行 (毎月1日発行)

定価3,190円 (本体2,900円+税10%)

※消費税率変更の場合、上記定価は税率の差額分変更になります。

2026年年間予約購読料

- ① 2026年1月号～2026年12月号+増刊号：定価52,690円
(本体47,900円+税10%)
- ② 2026年4月号～2027年3月号+増刊号：定価52,690円
(本体47,900円+税10%)

※前金予約購入に限り送料無料。

編集 小児内科編集委員会

発行 株式会社 東京医学社

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-16

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 TEL 03-5810-1648 FAX 03-5810-1649

E-mail: shonai@tokyo-igakusha.co.jp

営業部 TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629

E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY** 〔出版者著作権管理機構委託出版物〕

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に一般社団法人出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089), e-mail: info@jcopy.or.jpの許諾を得てください。

本誌広告取り扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5 NK本郷ビル5F
TEL 03-3814-8541 (代) FAX 03-3816-0415

メディア・アド

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9 第1長谷川ビル2階
TEL 03-5776-1853 (代) FAX 03-5776-1854

文京メディカル

〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階
TEL: 03-3817-8036 (代) FAX: 03-3817-8044